



主な内容

- ③……市美術展覧会審査結果、名張保護司会便り
- ⑥……かがやきフェスタ
- ⑦……施設の利用ガイド
- ⑧……11月の相談、第46回観阿弥祭・名張能楽祭

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

※緊急速報メール：ドコモ、ソフトバンク、auの対応機種に気象庁が発表する「緊急地震速報」や市が配信する「災害避難情報」が届くサービス。携帯電話の設定がマナーモードなどでも配信地域にいる場合は着信音が鳴ります。



【昨年】消防庁舎裏訓練場で市消防本部などによる人命救助訓練

主な訓練内容

● 避難広報訓練

防災ラジオ、FMなばり(83.5MHz)、防災ほっとメールなどを活用し、広く市民の皆さんに情報伝達を行います。その後、広報車や警察・消防団車両などで避難を呼び掛けます。

● 避難訓練

避難勧告を受け、家族の安否を確認した後、各地域で決められた一時避難場所などに避難します。

● 避難所開設・運営訓練

各地域公民館・市民センターや、市内小中学校などを会場として、地域が主体となり避難所開設(運営)を行います。

● 避難地運営訓練

給水訓練や炊き出し訓練を行います。

● 地域災害対策本部設置・運営訓練

各公民館・市民センターで地域災害対策本部を設置・運営し、当該地域内の災害情報や避難情報の集約を行います。

● 市災害対策本部設置・運営訓練

防災センターに市災害対策本部を設置し、災害対応の拠点として、応急対策業務を行います。

総合防災訓練

11.8

備えて、実践！市民が主役の

いつ起こるか分からない自然災害。いざというときに「どう行動できるか」。そうした事態に備え、市民が主役の実践的な総合防災訓練を実施します。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

訓練想定 11月8日

午前9時 河川沿いの地域に避難勧告

午前9時15分 市内全域に避難勧告

▼8日午前9時 局地的豪雨のため名張川、宇陀川、青蓮寺川沿いの地域に避難勧告を発令

▼8日午前9時15分 南海トラフを震源とする巨大地震が発生。市内全域で震度6強を観測し、避難勧告を発令。しかし、広域的な支援は沿岸部に集中

当日は、避難広報訓練から

防災ラジオ、FMなばり(83.5MHz)から緊急情報を放送します。また、携帯電話やスマートフォンに「緊急速報メール(※)」が届きます。その時、「どう行動できるか」多くの皆さんのご参加をよろしくお願いいたします。

◎各地域で行う訓練内容は、地域ごとに異なりますので、詳しくは地域の広報紙や回覧などでご確認ください。



【昨年】すずらん台町づくり協議会によるすずらん台小学校体育館での避難所開設(運営)訓練

災害に備え、地域で助け合う態勢を

東日本大震災の発生前から災害初動期の安否確認など、独自の取組みを実践していた仙台市の自治会長に、8月30日日に講演をいただきました。その一部を紹介します。

災害時には、行政はすぐに来てくれない。自分たちで解決しなければならない。地域でしっかり協議し、助け合う態勢を整えておくことが大事です。

阪神淡路大震災をきっかけに、防災のことを考え、町内の要援護者居住マップなどの作成や、夜間に防災訓練も実施しました。訓練を重ねると自信もついてくるし、住民の防災意識も高まりました。

東日本大震災では、そうした訓練を積み重ねてき

たことで、たった35分で住民全員の安否確認ができました。これは、「家族全員無事だった場合、合図として家の前に黄色い旗を掲げる」というルールが、住民の皆さんに理解され、徹底してできたからです。

災害に強いまちづくりは、住んでいる人の顔が見えることが大切。普段からの町内会の交流や、サークル活動など、そして防災訓練などを通じて、地域での態勢を強めていってほしいと思います。



災害伝承語り部
仙台市鉤取ニュータウン町内会
会長 宮谷 国雄さん